

**製品名: GCP5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11367**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	118kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TUBGCP5
別名	TUBGCP5; GCP5; KIAA1899; Gamma-tubulin complex component 5; GCP-5
遺伝子 ID	114791.0
SwissProt ID	Q96RT8
免疫原	抗血清はヒト TUBGCP5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 741-790

**背景**

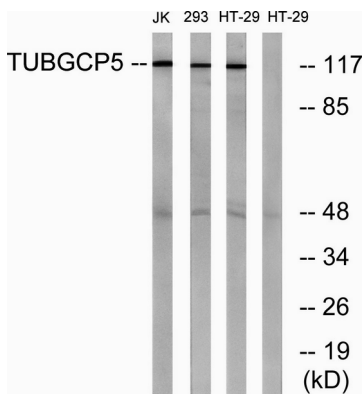
機能:ガンマチューブリン複合体は、中心体における微小管の核形成に必要です。類似性:GCP ファミリーに属します。サブユニット:ガンマチューブリン複合体は、ガンマチューブリン、GCP2、GCP3、GCP4、GCP5、および GCP6 で構成されています。組織特異性

:広く発現しており、心臓と骨格筋で最も高く、脳では中程度です。、機能:ガンマチューブリン複合体は、中心体における微小管の核形成に必要です。、類似性:GCP ファミリーに属します。、サブユニット:ガンマチューブリン複合体は、ガンマチューブリン、GCP2、GCP3、GCP4、GCP5、および GCP6 で構成されています。、組織特異性:広く発現しており、心臓と骨格筋で最も高く、脳では中程度です。、

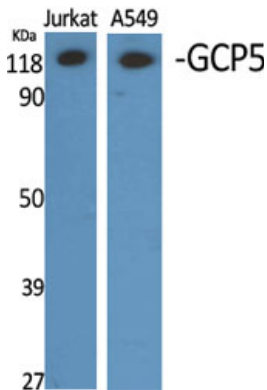
## 研究分野

-

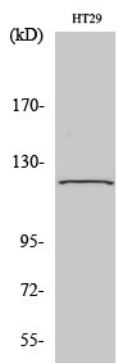
## 画像データ



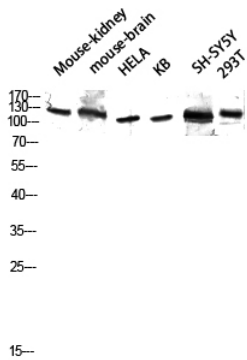
TUBGCP5 抗体を用いた HT-29、Jurkat、および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



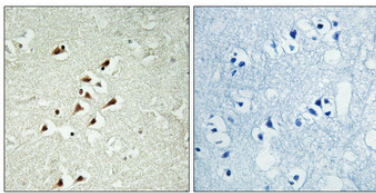
GCP5 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析



GCP5 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析



GCP5抗体を用いたマウス腎臓およびマウス脳 HELA KB SH-SY5Y 293T のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。